

いもじやはお兄ちゃんと将来的にフラグをたてたいこ

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



ごめん、
少し
待たせたか……？

あ……
お兄ちゃん！



イヤ



ううん、
わたしも学校
終わったとこっ

お兄ちゃんに
会いたくて
少し急いだけど……



最近のわたしと
お兄ちゃんは……

じゃあ
一緒に帰ろうか
イヤ

毎日帰る時間が
同じです

うんっ！

でも…少し前みたいに
家までお兄ちゃんと
競争したりはしなくて

お兄ちゃん…
歩くのはやい…

そ、
そうか…？

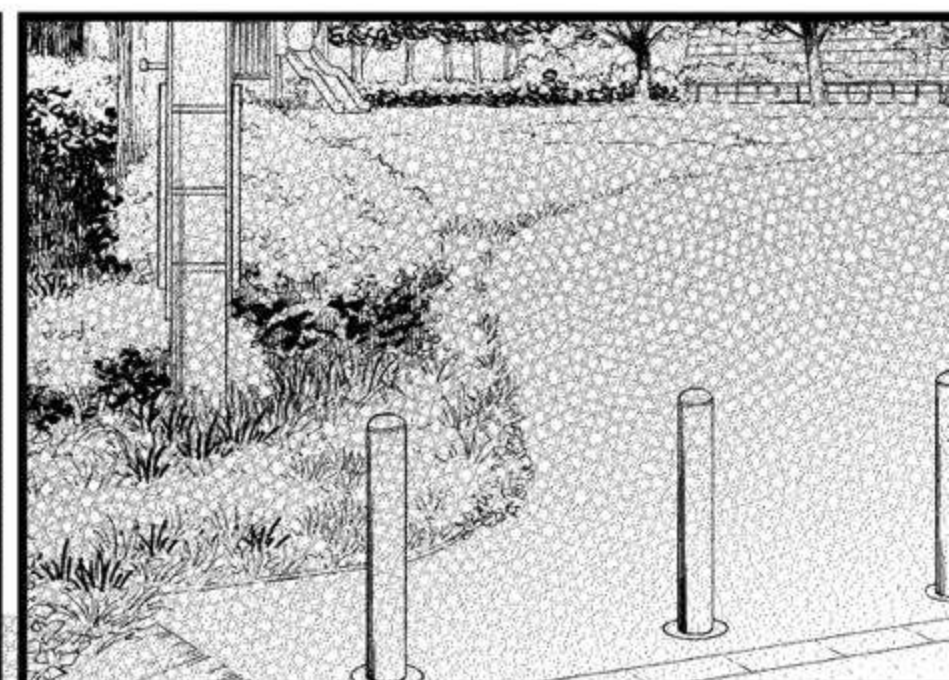
私もなんだか
足腰がふわふわして
走るのが少し苦手に
なっちゃってて

そして
毎日同じ場所に

今日も少し…
寄り道
していくか？
イリヤ…

今日も
お兄ちゃんと…

うん…



おにいちゃ…

ハッ…

ん…

ハッ

ん…

ん…

ん…

…っ

ん…



ずっとイリヤに
触れたいのを
我慢してた...

ある日を境に
こうして寄り道するのが
わたしとお兄ちゃん
二人だけの秘密の
日課になりました

本当は学校や家でも
こうしていたい
のだけど...



下着...
どうしたんだ...?



えっと...
ちよつと履けなく
なっちゃった...

お兄ちゃん
と繋がるのは

この時間だけ...

お兄ちゃん...♡

この姿で
ずっと居たのか?

ごめんな...さ

あ♡
だめっ...♡

おにいちゃ...
あああ...♡



知らない誰かに
弄られたら
どうするんだ...

あ...ああ...

イリヤは
女の子なんだぞ

はっ

はっ



ごめん...
なさい...

お兄ちゃんの事
考えてたら...
指が止まらなく
なって...

授業中ずっと
触ってたから

グシヨグシヨに
なっちゃった...



授業中…
この辺り…あつ

そこ擦って…
あ…あ兄ちゃん♡

ここっ…♡

そこが気持ちよくて
お兄ちゃんの事を
ずっと考えて
居られるの…



お兄ちゃんの指…
おっきい…
やっぱりこっちの
方が…

うん…



嬉しいよイリヤ…

俺の事を想って
こんなにも



そんなとこ届かな…
ああ…っ♡

おにいちゃ…
だめ…だめっ…

あ…だめっ!



でも…

俺ならイリヤに
このくらいは
するよ…!!



朝からずっと
弄ってたのに…

お兄ちゃんの
指…すし…

お兄ちゃんの指の
方が気持ちいいの…



イリヤ…

はっ…

はっ…



うん…



俺も…
もう我慢ができない…

しよな？



イリヤの膣に挿れて...

わたしも我慢できないの...

お兄ちゃん...

おちんちんが入ってくる感覚に思考が削られて

そこから先のわたしはおにいちゃんと同じ動物さん

これが本当のわたしたちの姿...

お兄ちゃん...好き...

お兄ちゃん...

お兄ちゃんの精液もつと欲しいの...



お兄ちゃん……っ!

……リヤ?

イリヤ!

うひゃあ!!

大丈夫?



な……何?
ミユ……っ

イリヤが
心配になって
様子を見に来たの……

もしかして、
魔力に関する事で
また何か問題が……

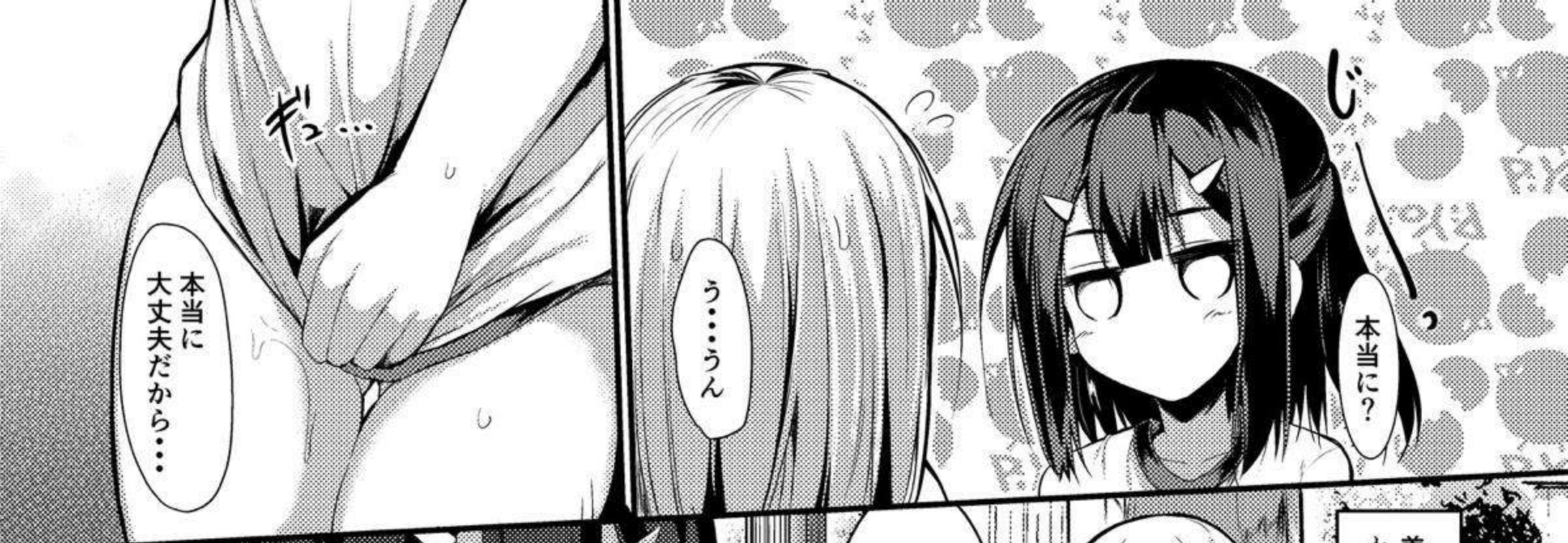
ああ……いや、
そういうのじゃ
ないからっ



今回は本当に
ただの風邪
だから……

ミユ……ごめん

だから……
心配しないでミユ……



本当に大丈夫だから...

う...うん

本当に?



美遊に嘘をついてまでわたし...何やってんだろ...

イリヤの為なら何でもするからその時は言っ...

うん...
そうするね



でも...

それすらもうどうでも良くなってくるの...

お兄ちゃんの事を考えると頭がぼーっとしてきて...

はあ...

お兄ちゃん...

放課後まで待てないの...お兄ちゃん...

ちや...

とろ...

授業を
抜け出して
くるなんて...

ごめんなさい
でも...

お兄ちゃんに
会いたかった...

体育の授業
だったのか？

あ...うん

着替える時間が
勿体なかった
んだもん...

俺もだよ...
でも放課後まで
我慢しないと

イリヤ...

あは...
もうおっきく
なってる...

おっけい...♡

嬉しい...





おにいひゃ...

そんな事言っても
仕方が...くっ

んっ...



お兄ちゃんも
学校が終わるまで
なんて待てないよね...

お兄ちゃん...

学校でも...
わたし...したい

ちゅっ



イリヤ...

お兄ちゃん...
学校にいる間も
こんなに
固くしてくれてる...

ん...

びっ

ちゅっ

ちゅっ

んう...

いいよ...
お兄ちゃん...

イリヤ...

気持ちいいよ...

ここでわたし...
お兄ちゃんに
犯されたいな...



我慢ふゆ...

そうだよね...



でも...
これが終わったら
戻るんだぞ...

放課後にまた
寄り道するから...



ワガママ言っ
てお兄ちゃんに
迷惑をかけ...あ、

くっ...
イリヤ...ッ



お兄ちゃん...
射精そうになってる♡



お兄ひゃんの
精液ほひい...ッ!

んん...

射精すぞ...
イリヤ...ッ

んっ...♡

お兄ひゃ...



射精るッ!

ビクッ

ビクッ

んんん...

んんん...♡

ガッ
ガッ

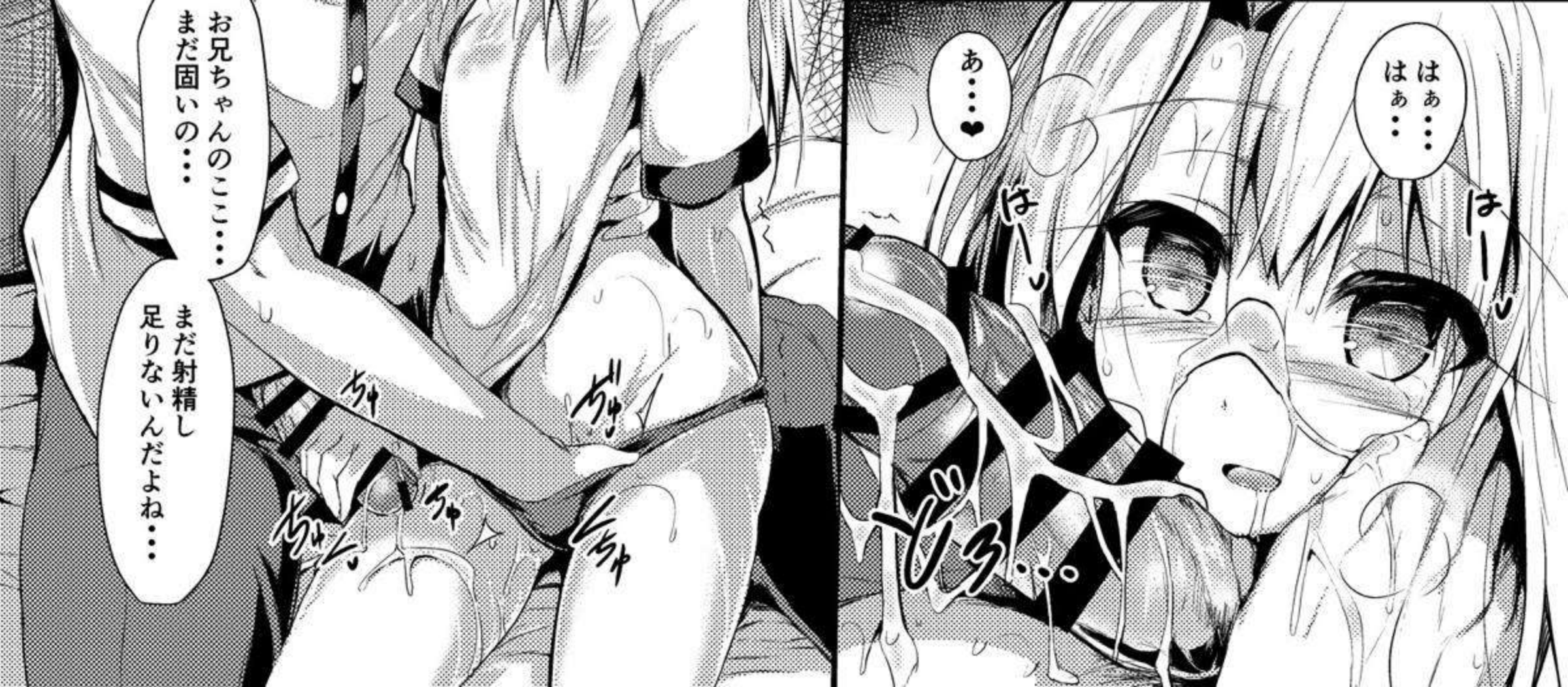


お兄ちゃん...

んく...

ん...♡

イリヤ...



はあ...
はあ...

あ...♡

はー

はー

お兄ちゃんのこと...
まだ固いの...

まだ射精し
足りないんだよね...

そろそろ
授業が終わる

戻らないと
みんな
心配するぞ…

うん…

でも…あと
少しだけ時間
あるから…

お兄ちゃん…
迷ってる…

もう少しだけ…
こうしてよ…?

挿入れて
貰うために
わたし…

放課後まで
我慢できる
気がするの…

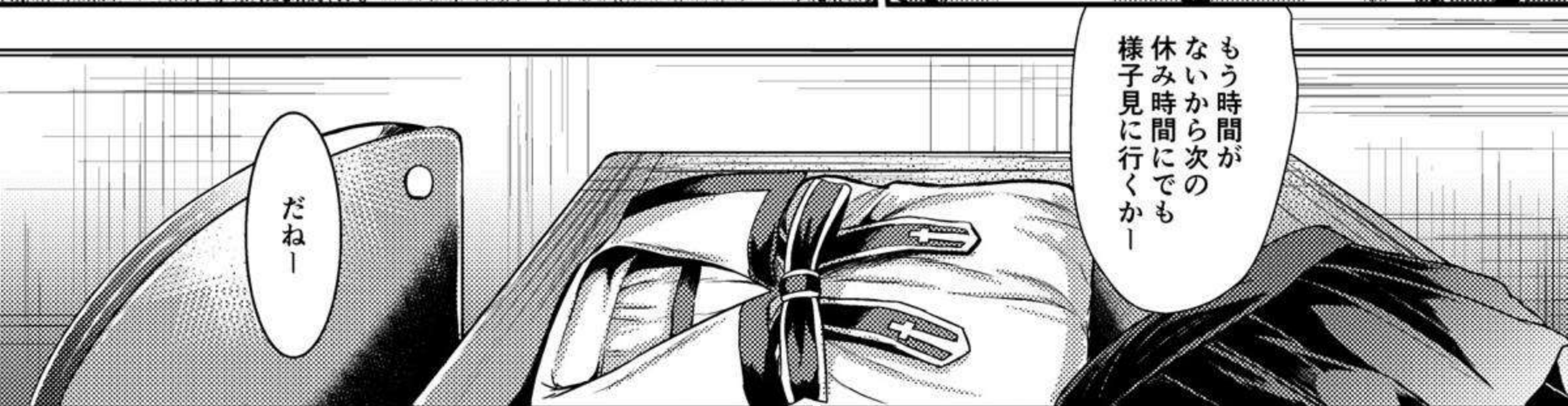
そしたら
お兄ちゃん…

イヤヤ…

…時間だね

戻ろっか…







あああっ♡
おにいちゃ...っ

イクっ...
またイっちゃう...っ!



俺だって...
本当は我慢
なんてしたく
ないんだ



結局...私も
お兄ちゃんも
続けちゃった♡

あっは...♡

お兄ちゃんの精液...
流れ込んで来るのが
わかるよ...



あ...♡
お兄ちゃんが
学校より私を
選んでくれた...
すごく嬉しい...

学校でも...
家でも...

ずっと繋がって
いたい...

あああっ...

イリヤ...!

このまま……

私も……
ずっと繋がって
居たいの……

我慢なんて
できない……

ずっとお兄ちゃんと
一つになれたらいいのに

授業抜け出して
良かった……

お兄ちゃんとの
時間より大事
な事なんて……

あ……
それ……

わたし……

だめっ……

私の頭のなか……
お兄ちゃんだけに
なるっ……

イリヤ……

お兄ちゃん……ッ
このまま授業
サボって……

ここでずっと
イリヤとあそぼ……



これ……っ
すご……っ

イリヤ……
嬉しいよ……

おにいちゃっ……

んあっ……

私……
幸せなの……

でも……
次の休み時間までには
戻らないといけない

お兄ちゃん……

あああ……
お兄ちゃんっ……

俺だってイリヤと
こうして
いたいけど……!

お兄ちゃんのものになれて
幸せなの……っ

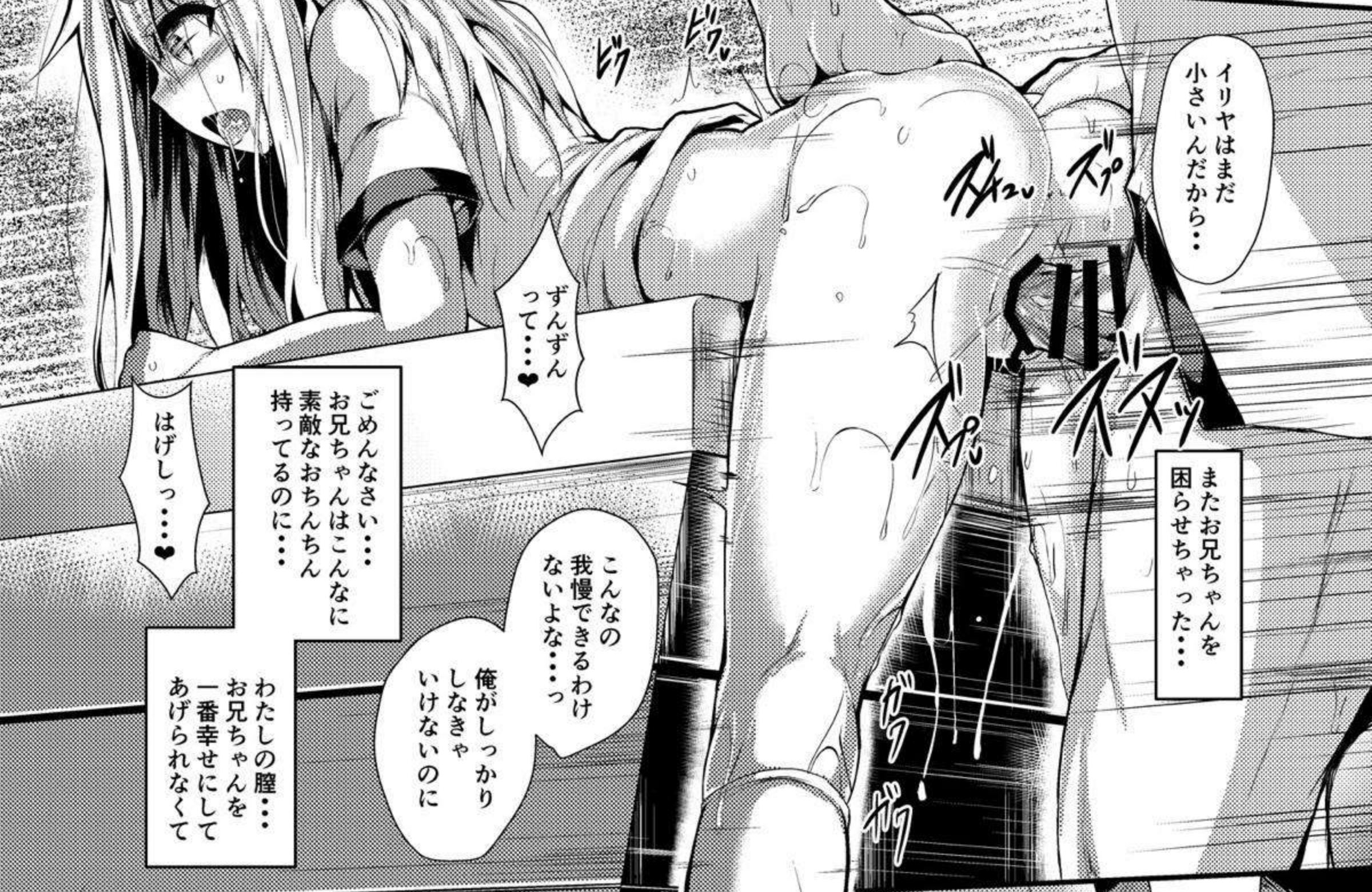
我慢なんて
できない……
したくないの……っ!



ひゃっ...

おにっ...

ごめんなっ...



イリヤはまだ小さいんだから...

ずんずん
って...

ごめんなさい...
お兄ちゃんはこのな
素敵なおちんちん
持つてるのに...

はげしっ...

わたしの膣...
お兄ちゃんを
一番幸せにして
あげられなくて

こんなの
我慢できるわけ
ないよな...

俺がしっかり
しなきゃ
いけないのに

またお兄ちゃんを
困らせちゃった...



あ...

イリヤ...

自分でもこんなに
イリヤを愛おしく
感じるなんて
思ってたかったんだ

お兄ちゃん...



イリヤの膣に
入れたくて
たまらない...

あああ...



我慢なんて...
もうやめよ...?

いいんだよ...
おにいちゃん

わたし...
お兄ちゃんに
こうされるの...好きっ



お兄ちゃんの事以外

どうでもいいの...

はあ...

...はっ

他に何にも
いらぬい...



待ってる...ずっと
おまんこ弄って
待ってるから...



イリヤ...

いつでも
お兄ちゃんに
呼んでほしい...

学校でも...
家でも...



おにいちゃあ
ああ……あ……



ああ……イリヤ

愛してるよ……

あ……あ……



お兄ちゃん……っ!



俺も……少しづつ
だけど頑張るから

イリヤと恋人として
ずっと一緒に
居れるように……

だから今は
我慢しないと……



わたし……
お兄ちゃんとずっと
一緒に居る為に
頑張る……っ!





イリヤ……

うんっ……
いいの……♡

ほしい……
お兄ちゃんとの
赤ちゃん欲しい……

精液ほしいの♡

あ……ああ……
お兄ちゃん……



射精すぞ！
イリヤ……っ

うんっ……来てっ！



あああ……
イク……っ♡

お兄ちゃん……っ！

お兄ちゃん……っ♡

何があっても
イリヤは
俺が守る……ッ！

大人になるまえに
孕んだら……
責任はとるから……



クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

ああああ

ああああ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ

クハ



仕方がないよね…

体を重ねる回数が増えるれば増えるほど気持ちよくなってくるんだもん

それに…お兄ちゃんが言ってくれた

大人になる前に
孕んだら…責任とって
くれるって…

学校も家も…お兄ちゃんとの恋路の邪魔でしかない…

…もしもし

私…えっと…家の留守を任されておりますセラと申します

はい…ですのでおにいちゃ…シロウさんとイリヤさん共々

…急な用事でお休みということで

あ、いえ…月曜には戻ってこれますので…はい

宜しく…っ
おねがいします





おにいちゃん♡

イリヤ...

またセラもリズムも
何処か行ってる
みたい...



お兄ちゃん...

今日...学校行くの
やめよ...?



今日から3日間...
二人つきりだよ...

私なんだか
熱っぽいの...
だから

イリヤの
側に居て...

すす...

ちゅ...♡



ルビーから貰った
お薬...

ん...

んう...

お兄ちゃんに
強引に飲ませて
っど...

イリヤ...



3日間ずーっと
セックスしてたら

お兄ちゃん...♡

お兄ちゃんとの
赤ちゃん...

できるかな?



イリヤ...
お前...ツ

大丈夫だよ...

ああ...

入ってくる...

ああああ...ツ
気持ちいい...♡

ぐうぐうッ!



こ...れ...っ

3日間も
フツ―はセックス
できないもんね...でも

大丈夫...
さっきの薬なら

今から3日間...
お猿さんになって
楽しめるよ...

ビク...

ガク
ガク

ほーっと
してきた？

イリ...ヤ...



うんっ...うんっ

イリヤ...
俺...俺...

あ...
お兄ちゃん...

いきなり
激しく...



んはあっ...

お兄ちゃんの
おちんちん...
すごく熱い...



お兄ちゃん...

はあ...
はあ...



来て……っ♡

学校の事なんて
考えずに……

二人の事だけ
考えよ……!?

ああっ……
すごっ……

お兄ちゃん……
お兄ちゃん……

あ……♡

イリヤ……!



く……っ
もう射精そう
になってる……

あ……♡

イリヤ……
お前の膣に……っ

射精して……ッ

んんん……♡



ああああ
あああッ♡

イリヤ…
イリヤ…ッ!

お兄ちゃん…
お兄ちゃんん…ッ♡



んんん…♡

お…
おにいひゃ…♡



いっばい
射精たね…

おにいちゃ…
んんん…♡



んんん…♡

おにいちゃ…

はあ…

はあ…



周りが少しだけ
暗くなってる

今がお家に
帰る時間なんだって
わかった



あんっ...

おに...っ

ああああっ



時間さえ忘れちゃう程
お兄ちゃんと
夢中になってたんだ...

嬉しい...♡

イリヤ...っ!

イリヤ...ッ

イリヤあ
ああ...ッ!

お兄ちゃん...♡

ああああ...♡

射精てる...♡
あついの...♡

ああっ...



お兄ちゃんが
全力で愛して
くれてる……♡

もっと……もっと
繋がって居たい……

学校も……家も……

時間も何もかも
置いてきぼり

今……俺の頭の中……
イリヤの事しか
考えてない……

まだイリヤに射精し
足りないんだ……

ギョウ
ウ……



お兄ちゃん……？

グイ……

はあ……

はあ……



あ……あああ……

嬉しい……！
おにいちゃん！



んああっ♡

ごっ
ごっ



引いてくれる手が
優しい……

やっぱりお兄ちゃんは
素敵な人なんだ……

ああ……
もっとお兄ちゃんの
おちんちん欲しい……

欲しい……

欲しい……



素敵なお兄ちゃんの
ものになった証が
欲しい……

イリヤ……
いいんだな……?

うん……

これから3日間……
ううん2日と
あとすこし

お兄ちゃん……
はいどぞ……♡



お兄ちゃんの
好きにして……♡

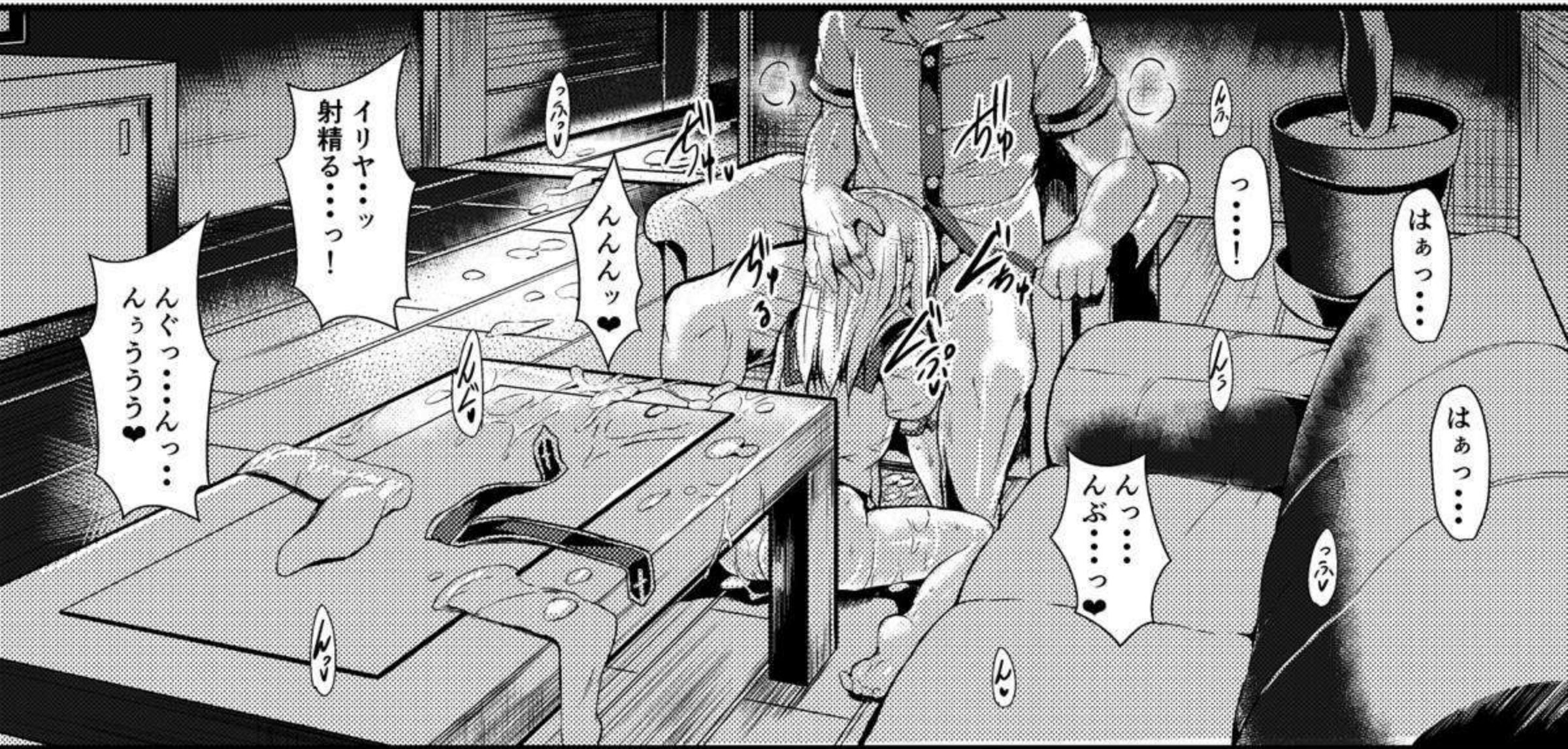


ああっ！
激しい……♥

お兄ちゃん……ッ！
あ♥また出てるっ

お兄ちゃんっ♥

イリヤ……！



イリヤ……ッ
射精……っ！

んぐっ……んっ……
んうううっ♥

んんんッ♥

はあっ……

はあっ……

んっ……
んぶ……っ♥



お兄ちゃん……っ♥

んう……っは
イリヤ……
イリヤ……ッ

お兄ちゃん……っ♥

あ……っ♥
あああッ♥

んう……ん……
はあっ……
はあ……ッ

お兄ちゃん……♡

お兄ちゃんのおちんちんだけ
はつきりわかる♡

変なの……♡
いろんなものが
ぽやっとしてるのに

あ……♡
お兄ちゃん……
私とちゅー
したがってる……

お兄ちゃんの顔が
近くてちよっと
ドキドキする……♡



お兄ちゃんと
キス……
しちゃった

ん……

お兄ちゃん……
わかるよ……また
射精するんだよね

早く孕んで
お兄ちゃんと結婚
したいよお……

お兄ちゃん……

きて……
精液……イリヤに
流し込んで



おにいちゃん♡
おにいちゃん♡

んはあ♡
んああ♡

あー♡

うあ♡

うあ♡

はー♡

っは♡

どろどろ♡
どろどろ♡
どろどろ♡

うわ♡



だったら・・・
こんな形でも叶えて
あげたいじゃないですか

できれば今回で
イリヤさんとお別れさか
ついた傷が

いつか二人の
本当の恋になるように
・・・



ちよ・・・なんで
わたしの・・・
しかもこんな高出力・・・
あ・・・だめっ・・・

姉さん、
良い感じに誤魔化そうと
しても無駄です



そっと思いませんか？
サファイアちゃん・・・なの
何ですかの
洗脳電波デバイス！

わたしの話
聞いてました!?

姉さんの
言い訳なら
2ページ程
聞きました



おんいちゃ...

あれ？

おんいちゃ



うわ...

汗びっしょりだ...

そんなわけで



？ ？

なんか...
すごく恥ずかしい
夢をみてたような...
思い出せない...

それに...
なんで制服着て
寝てたんだっけ？



いつも
通りの朝が来て...

おはようございます
イリヤさん...あら？

今日は朝から
制服に着替えて
るんですね

う、うん...

でも、
ちょっとシャワー
浴びてくるね...

いつもどおりに
学校へ行く支度

そして今日も
お兄ちゃんと

いつも通りに
お兄ちゃんと恋人つな...

...いやいや、
お兄ちゃんと
そんな事したことないのに
何でそう思っ...

一緒に行こうか
イリヤ

お...
お兄ちゃん?

ん...?
どうした?

お兄ちゃん...
まったく
気づいてない...

.....?
何かあったか?

でも...

ううん...
なんでもないよっ

不思議と違和感がなくて
いつもよりどきどきする

お兄ちゃん!



おわり



あれから

今日
布団しまっ
てないんだ……

お兄ちゃんもイリヤも
元の日常に戻った……

……

でも……わたしは

おにいちゃん
の匂いがする……

はー

はー

はー

は……

えへへ……

はー



あの幸せな日々に取り残されたまま

はあ...
お兄ちゃん...

お兄ちゃん...
好き...

好き...

この記憶はわたしのものじゃない

お兄ちゃんとキスした

お兄ちゃんと一つになった

お兄ちゃんとどろどろになるまで愛し合った

お兄ちゃん...
わたし...♥

今でも
全部覚えてる...

わたし今でも...

お兄ちゃんと赤ちゃんを作る約束をした

お兄ちゃんのもの
なんだから...♥

お兄ちゃんにわたしの全部を捧げた

お兄ちゃん

お兄ちゃん...♥
お兄ちゃん...♥
お兄ちゃん...♥
お兄ちゃん...♥





壊したくない...

こうしてお兄ちゃんと居られる奇跡も

なんの変哲もない普通の暮らしも

やだ...



はっ...

何やってんだろわたし...



でも...足りないの...

お兄ちゃんのおちんちん...欲しいなあ...



お兄ちゃん…

はー

は…

好き…
大好き…

たすけて
犯してよ…

お兄ちゃん…

あとがきです。

ASTRONOMY及びSeN個人の令和の最初の作品です。

自分の作業机に付箋で【夏コミ新刊① イリヤ本の続き 24Pくらい】とか自筆でメモったものがあるのに、このあとがきは50P目です。

前回の奥付で12Pくらいのその後の展開とか書いた覚えがあった気がするのですが増えました、増えすぎたのでトイレの下りとかは省略しました、

トイレでやる行為はあのままだと立ちバックになるので

プレイ内容を体育倉庫で補完・制服姿ですするという要素をおうちで補完という感じで。

とりあえずイリヤちゃん編は一旦これで小休止です。

幼いイリヤちゃんとお兄ちゃんの二人だけのルートは放っておいたらノーヒューチャーという感じで今回は描きました、じゃないとサファイアが止める理由もないですしね。

小休止なので続きを描き続けていくとまたお兄ちゃんとえっちします。

でも、次書くときはまずはお兄ちゃんと妹のクロエの話になるとおもいます。

クロエとの話はもうちょい自制したものにしてしようとおもいます、

50Pオフセとかは今回限りにしたい……クロエちゃん編は一冊24P~30Pくらいで3巻くらいに長くなりそうだったらわけようかなと。

今回も体育倉庫で一旦切ろうかなとも考えたのですが、

そのままの勢いでイリヤちゃん自身がもう止まれない感が

次の巻からとかにしてしまうとちょっとアレなのではと思い、50Pにしました。

できればもうちょっとイリヤを書きたいなって思ってしまったので

ここで一旦小休止は名残おしいなとか思わないでもないですね。

今回のお話時間軸がおよそ無印とツヴァイの間くらいを考えていたので、

次はツヴァイ〜ドライ辺りまでの時間軸で海とか夏祭りとか考えています。

このたびは本を手にとっていただきありがとうございました。

もしよかったら

ご感想などいただけたら嬉しいです。

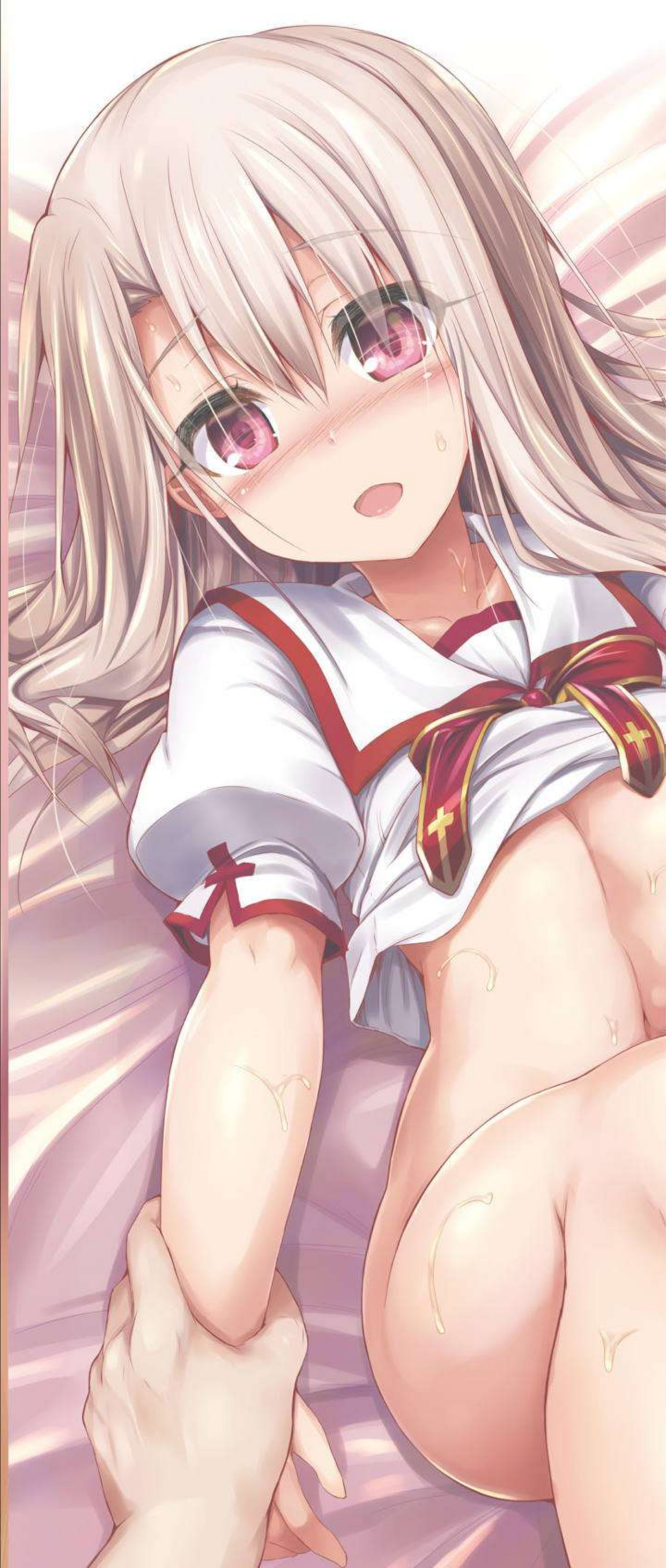
奥付

発行:ASTRONOMY

作者:SeN(astronomy100@gmail.com)

発行日:2019年08月12日(コミックマーケット96)

印刷:HOPE21 (<https://www.hope21.jp/>)



<http://delicia.blog3.fc2.com/>